

2022

8

# 加西市議会だより

No.172

待望のプールが再開！

令和4年度一般会計補正予算を可決（P4～7）

- 6月定例会
  - 議案審議レポート（P3）
  - 議決結果（P9）
  - 一般質問（P10～15）
- 7月臨時会（P8）

日吉小学校にて

令和4年

6

月定例会ハイライト

第295回

令和4年6月定例会は、6月2日に招集され24日までの23日間の会期で開催しました。定例会の初日には13議案が上程され、諮問1件を原案どおり適任と答申、人事案件3件及び名誉市民の称号を贈ることについても原案どおり同意しました。また、一般会計補正予算1件を原案どおり可決しました。

10日には議案に対する質疑を各会派の代表5名が行い、続いて、13日までの2日間にわたり、11名の議員が市政全般に対する一般質問を行いました。15日からは常任委員会が開かれ、付託された議案の審議を行いました。

最終日には、7議案を原案どおり可決するとともに、同日提出された意見書案3件のうち1件を可決し、閉会しました。

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（8月下旬掲載予定）にてご覧いただくことができます。

## 1 食の安全保障と国内農業の安定を求める意見書案を可決

6月24日の本会議最終日に、議員提案による食の安全保障と国内農業の安定を求める意見書案を全会一致で採択し、国などに提出しました。

### 食の安全保障と国内農業の安定を求める意見書

**要旨** ロシアのウクライナ侵攻により一気に世界情勢は不安定となり、小麦をはじめとする様々な食料が国内に入りにくくなり、加えて石油価格も高騰し、商品の物価上昇が続いている。今こそ国内、地域の農業が安心、安全な食糧を供給すべきだが、その期待に応えることができない現状である。情勢が不安定化している今、食料自給率を高め、若い人が夢を持って農業に就労できるようになるなど、農業施策の見直しが必要であることから、次の4項目を要望する意見書を提出しました。

- 1 国会での農業施策の早期審議
- 2 地域農業の活性化
- 3 農家、農業経営者への肥料・燃料代の支援
- 4 働ける農業（儲かる農業）の確立

意見書の  
全文はこちら



意見書 QR コード

## 2 令和4年度一般会計補正予算3議案を審査・可決

コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」による住民税非課税世帯や子育て世帯等への給付金の交付、4回目の新型コロナウイルスワクチン接種やデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した事業実施、健幸都市推進や劇場型周遊観光事業実施などのための補正予算3議案が提案されました。

1議案は定例会初日に可決され、2議案は予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）において、2日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり可決しました。

# 議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑に加え、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。  
主な議案と審議の経過について紹介します。

## 加西インター産業団地を 奨励金の交付対象に追加

**概要** 加西インター産業団地への企業誘致が進んでいることから、同産業団地を奨励金の交付対象とするもの。

### 質疑

**問** 奨励金の対象となる事業所の条件は。

**答** 対象業種は製造業、道路貨物運送業、大規模農業施設を営む事務所及び宿泊業です。そのうち、市外からの進出事業所と市内事業者の新設事業所は、操業年の12月末までの投資額が1億円以上、市内事業所の事業拡張の場合は5,000万円以上が対象となります。

**問** 奨励金の内容は。

**答** 投資額に対する固定資産税相当額を5年間、また年間水道使用量が2,000立方メートルを超えた水量にかかる水道料金相当額の2分の1の額を10年間、奨励金として交付します。

**問** 令和3年度の奨励金の交付状況について。

議案第36号 加西市産業振興促進条例の一部を改正する条例の制定について

**答** 固定資産税相当額のみが9事業所（うち4事業所が新規）で2,410万円、固定資産税相当額と水道料金が1事業所で230万円、水道料金のみが3事業所で2,050万円、計13事業所で4,690万円です。

### 討論

賛成

・地域の雇用確保のため、企業の進出を促進することも極めて重要であり、奨励措置は引き続き必要である。加えて、これまで市を支えてきた既存の製造業に対する支援も考えていただきたい。（建設経済厚生常任委員会）

### 議決結果

全会一致で  
原案可決



工場建設が進む加西インター産業団地  
(令和4年7月15日撮影)

さえぐさてるゆき

## 名誉市民に三枝輝行氏

**概要** 加西市北条町出身であり、株式会社阪神百貨店代表取締役社長、同社代表取締役会長を務められ、現在、加西市特別顧問である三枝輝行氏に加西市名誉市民の称号を贈るもの。

### 質疑

**問** 選考基準は。

**答** (市長) 平成9年から現在まで4代の市長にわたり、一貫して郷土の発展を強く願って寄附を続けてこられました。また、社長在任中に「日本一のデパ地下」をつくるなど企業の第一線で活躍、関西経済界の発展に尽力されてきた知識や経験を生かし、市政全般にわたって助言を頂くとともに、各種メディアへの市の紹介や出演など、市のPRの機会を多くつくっていただきました。このような支援を通して市の発展に大きく貢献されています。選考委員会では、全会一致で名誉市民の称号を贈るにふさわしいと答申を受けました。

議案第38号 名誉市民の称号を贈ることにつき同意を求めることについて

### 討論

なし

### 議決結果

全会一致で原案可決



三枝輝行氏

※ 加西市は、これまで5名に名誉市民の称号を贈っています。

| 名誉市民   | 顕彰日         |
|--------|-------------|
| 後藤清一 氏 | 昭和43年10月13日 |
| 藤岡今次 氏 | 昭和43年10月13日 |
| 増田義雄 氏 | 昭和54年4月1日   |
| 藤岡重弘 氏 | 平成14年4月21日  |
| 宮崎突保 氏 | 平成21年5月8日   |

※ 全て故人です。

# 令和4年度一般会計補正予算3議案を可決

## 住民税非課税世帯やひとり親世帯などへ給付金を支給

議案第40号 令和4年度加西市一般会計補正予算(第1号)について

### 質疑

**住民税非課税世帯等臨時特別給付金** 5,500万円の増

**問** 給付金の概要について。

**答** 物価高騰等に直面する生活困窮者等の方々が一層速やかに暮らしの支援を受けられるよう、1世帯当たり10万円を支給します。

**問** 支給対象世帯は。

**答** 令和3年度の住民税は課税されていたが、令和4年度に新たに世帯全員の住民税が非課税となった世帯、及び令和4年1月以降の収入が減少し住民税非課税相当の収入となった家計急変世帯が対象です。ただし、令和3年度に同給付金を受給された世帯は対象外です。

**問** 手続等について。

**答** 7月中旬ごろに世帯全員の住民税均等割が非課税の世帯に確認書を郵送し、支給要件や振込先等の確認後に給付金を振り込む予定です。

家計急変世帯や転入世帯の方は申請が必要となり、申請内容を確認した後、対象の世帯に振り込みます。

住民税均等割非課税世帯等の皆さまへ  
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(10万円/1世帯)のご案内  
支給には手続きが必要です

- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(1世帯あたり10万円)は、住民税均等割非課税世帯や新型コロナウイルス感染症の影響で家計急変のあった世帯を支援する新たな給付金です。
- 給付金を受給するためには、**手続きが必要**です。

**子育て世帯生活支援特別給付金** 3,600万円の増

**問** 給付金の概要について。

**答** 食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行うため、18歳以下の児童1人当たり5万円を支給します。

**問** 支給対象者は。

**答** ひとり親世帯の場合は、児童扶養手当を受給している方、及び児童扶養手当を受給していないが、家計急変等で受給している方と同水準の収入となった方が支給対象です。また、ふたり親世帯の場合は、令和4年度の住民税が非課税の世帯、及び家計急変世帯が支給対象です。

**問** 手続等について。

**答** 児童手当、児童扶養手当の受給世帯には、その仕組みを利用して案内書を送付し、内容確認ができ次第、6月末までに支給したいと考えています。

高校生のみを扶養している方や家計急変世帯は申請書の提出が必要となります。申請書を受け付けた後、内容を確認して対象者に振り込みます。

### 討論

なし

### 議決結果

全会一致で原案可決

ひとり親の皆さまへ、大切なお知らせ  
厚生労働省  
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)のご案内  
ひとり親世帯の支援のため、新たな給付金の支給を実施します!

1. 支給対象者

- 以下の①~③のいずれかに該当する方
- ① 令和4年4月分の児童扶養手当受給者の方
- ② 公的年金等を受給していることにより、令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない方(「公的年金等」には、遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金、遺族補償などが該当します。)
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている方

※ 上記の②又は③に該当する場合であっても、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯対象の子育て世帯生活支援特別給付金の支給を受けている場合は、本給付金の支給は受けられません。

2. 支給額

児童1人当たり一律 **5万円**

大切なお知らせ  
ひとり親世帯(今回の給付金を受取済みでない方へ)  
厚生労働省  
令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金のご案内  
子育て世帯の支援のため、給付金の支給を実施します!

1. 支給対象者

①②の両方に当てはまる方(※ひとり親世帯分の給付金を受け取った方を除く)

- ① 令和4年3月31日時点で **18歳未満の児童(障害児の場合、20歳未満)**を養育する父母等(※令和5年2月末までに生まれた新生児も対象になります。)
- ②
  - 令和4年度 **住民税(均等割)が非課税**の方
  - または
  - 令和4年1月1日以降の収入が急変し、**住民税非課税相当**の収入となった方

2. 支給額

児童1人当たり 一律 **5万円**

## 4回目の新型コロナワクチン接種やスマート図書館など

議案第41号 令和4年度加西市一般会計補正予算(第2号)について

### 質 疑

**富田地区地域主体型交通** 722万8,000円の増

**問** 公共交通政策事業の増額の内容は。

**答** 富田地区の地域主体型交通の導入に当たり、テスト運行する計画です。主に車両購入費470万円、運営費補助250万円などです。

**問** 今後の運行に向けたスケジュールは。

**答** 定時定路線で地区内にバス停を設けて、ワンボックスタイプの車で運行する予定です。来年1月に向けて調整中です。



**問** 富田地区から北条への直接乗り入れをするのか。

**答** 富田地区の中で結節点(乗継場所)を設けるのは現実的に難しいと考えます。

**sora かさい**

1,200万円の増

**問** 鵜野飛行場平和ツーリズム推進事業委託料550万円について。

**答** soraかさいの近くに気球をイメージした「空のポスト」を設置します。見学後、感じたことや感謝の思いを手紙に記し、ポストに投函してもらいます。費用については、ポストのデザインや制作、設置工事をします。別途、印刷製本費100万円でPR用冊子や投函用はがきの作成をします。

**問** 地域活性化拠点施設運営委託料550万円について。

**答** 当初予算の550万円に上乗せし、LINEを使った「soraかさいファンパスポート」に機能追加します。アプリのデータ分析、コンテンツやメッセージ配信も自前でできるようにします。



**問** 個人情報等のセキュリティ問題もあり、soraかさいの指定管理者に任せても大丈夫なのか。

**答** 市も関与し、情報セキュリティ対策をしっかりと行います。

**新型コロナワクチン接種事業** 2億2,315万1,000円の増

**問** 4回目のワクチン接種の対象者は。

**答** 4回目の接種は重症化予防を目的とし、3回目接種を完了した60歳以上の方、18歳から59歳で基礎疾患のある方、重症化リスクが高いと医師が認めた方が対象です。



**問** 接種回数を重ねるごとに接種希望者が減少しているが、広報など今後の対応について。

**答** 2回目の接種率は人口の約83%に対して3回目は65%です。県平均の56%を上回っていますが、若い世代の3回目接種が進んでいない状況です。4回目接種と併せて接種機会を設けるとともに、今後も接種勧奨を続けていきます。

**電気自動車の急速充電器設置**

1,494万円の増

**問** 設置台数及び設置場所の選定について。

**答** 現在、市内には急速充電器5台、普通充電器11台が設置されていますが、これからの電気自動車の普及に向け、50キロワットの急速充電器2基を設置します。soraかさい駐車場に1基設置し、もう1基は玉丘史跡公園を検討中です。



市役所駐車場に設置された急速充電器

## ねっぴ～ Pay

2,228 万円の増

**問** 地域通貨委託料の内容と目的は。

**答** ねっぴ～ Pay をマイナポイントの決済事業者として登録するものです。利用者や加盟店、地域通貨流通量の拡大に向け、チャージ端末の導入、プロモーションや販促活動に取り組みます。市内でチャージした電子マネーや健幸ポイント、行政ポイントを市内で使用し、経済循環の活性化を図ります。

**問** マイナンバーカードやマイナポイントとの関連は。

**答** マイナポイントの第2弾として、健康保険証の機能と公金受取口座の登録で1万5,000円分のマイナポイントが付与されますが、その部分をねっぴ～ Pay に誘導していきたいと考えています。市内事業者で利用してもらうためのひもづけが目的です。また、これによりマイナンバーカードの普及も進むのではと考えます。

**問** ねっぴ～ Pay による経済循環のビジョンについて。

**答** まずはチャージ端末などインフラ整備が肝要と考えます。その上で、独自クーポンの発行など端末機能をうまく活用して、事業者自らが収益を上げることができるよう、消費者も含め官民一体となって取り組みます。



## STEAM教育

1億8万4,000円の増

**問** 事業内容は。

**答** 小中学校・特別支援学校16校、3つの公民館、総合教育センターの20施設に「STEAMラボ」を整備します。複数校による同時オンライン授業、学校と公民館との連携などができます。備品として、通信用のパソコンやカメラ、スピーカー、マイク、椅子、パーテーション等を購入予定です。

**問** 「STEAMラボ」の活用頻度は。

**答** 各学校・各学年で計画し、ニーズに合わせて使うこととなります。全体の授業時数のうち何時間という決まりはありません。



**問** 活用が進むにつれ、楽しいと思う子とついていけない子との差が出てくると思われる。子供たちの関心はデジタルばかりではない。

**答** これからを生きる子供たちにとって、デジタルは必要不可欠なものです。ただ過剰な負担、効果はきちんと見極めていきます。

## スマート図書館

1億3,886万1,000円の増

**問** 事業内容は。

**答** 学校図書室や総合教育センターの蔵書をデータベース化し、本の検索や貸出・返却等を電子処理できるようにします。また、市立図書館で電子書籍を追加購入し、インターネット経由で館外からでも利用可能にするとともに、図書館システムを更新し、図書カードに替えてスマートフォンによる図書の貸出しや借りた本を登録して貸出履歴を残すことができるようにします。

**問** 年間のランニングコストは。

**答** これらのシステムは年間462万円になります。



**問** 図書館のデジタル化に多額の費用がかかっている。その効果をどう考えているか。

**答** 電子書籍であれば、365日24時間いつでも利用でき、図書館に足を運ぶ必要もありません。ただ、どれだけの利用が見込めるか、なかなか見通せないところです。



## 討論

### 賛成

・デジタル化に多額の予算が計上されているが、デジタル技術が使える人・使えない人との間で行政サービスの格差があってはならない。また、効率化により行政窓口が減少し、住民サービスの低下につながってはいけない。(本会議)

・デジタル化の時代にこそ、人間力や道徳性を育てていくことが肝要。子供の興味・関心はデジタルだけではない。小さい頃からリアルな体験、学びができる環境はとても大切。また、教員や親が一層子供たちと向き合うことが必要ではないか。(本会議)

## 議決結果

全会一致で原案可決

# 運動教室のライブ配信や 劇場型周遊観光の開発など

議案第 42 号 令和 4 年度加西市一般会計補  
正予算（第 3 号）について

## 質 疑

### 健幸都市推進事業

817 万 3,000 円の増

**問** 当初予算で 276 万円計上されているが、補正予算は別事業を実施するためのものか。

**答** 当初は、市民の健康維持の増進を図ることを目的として、ヴィクトリーナ姫路の協力を得て参加型の運動教室開催を考えていましたが、コロナ禍での開催に課題もあるため、デジタルツールを活用したライブ配信等による教室も開催するなど、事業の拡充を予定しています。

**問** 当初の事業では子育て世代を対象としていたが、事業の拡充によりどうなるのか。

**答** 当初事業と同様に、子育て世代、働き盛り世代をメインターゲットに、休日等の参加しやすい時間帯に運動教室のライブ配信を検討しています。また、一般市民を対象とした動画配信による教室や企業などへの出前講座など、子育て世代に加えて広く市民全体へ事業を展開していく予定です。



**問** 産官学連携による取組の内容は。

**答** 運動教室の配信に当たっては、大学に事業監修や効果分析を委託します。また、事業展開については運営委員会を設置し、商工会議所にも参加していただく予定で、産・官・学が協働して事業展開を図ります。

### 観光事業委託料

700 万円の増

**問** 事業の目的は。

**答** 観光看板商品の創出を目的として、観光庁の補助事業を活用し、ストーリー性のある商品開発を進めます。加西市は鶉野飛行場跡の整備が進み、修学旅行や見学客が増えていますが、そこから市内観光地への流れが少ないため、市内観光地への新たな人の流れを生み出し、地域の広域的な観光振興へ発展させたいと考えています。



sora かさいを見学する  
修学旅行生

**問** 事業の具体的な内容は。

**答** 劇場型周遊観光事業と題して、第 2 次世界大戦の海軍の休日に焦点を当て、飛行訓練生が休日に北条の下宿で地域の方々と親しく交流した史実など地域の歴史的物語を紡ぎながら、鶉野フィールドミュージアム、北条鉄道、北条の宿及び気球の 4 つのコンテンツを結ぶツアーを企画します。



**問** 委託料の内容は。

**答** 事業実施に当たり、様々な団体や事業者などによる実行委員会を立ち上げ、パフォーマーやガイドの育成、食の開発、看板やパンフレットの製作やモニターツアーなどを実施していきます。

## 討 論

### 賛成

・わずかな費用で多くの観光客をもてなす地道な取組が制限され、今回、別の事業に多額の予算がつくのはいかなものかと思う。事業実施に当たり、内容の再検討が必要と考える。(本会議)

## 議決結果

全会一致で原案可決



令和4年

7

月臨時会ハイライト

第296回

令和4年7月臨時会は、7月13日に会期1日で開かれました。  
マイナンバーカードの普及促進及びコロナ禍における原油価格・物価高騰対策などの緊急支援を行うための補正予算2議案が上程、審議され、原案どおり可決しました。

## 原油価格高騰対策支援金や 2学期からの教材費補助など

議案第43号 令和4年度加西市一般会計補正予算（第4号）について

### 質疑

**マイナンバーカード普及促進** 7,302万6,000円の増

**問** 交付率向上のための取組は。

**答** 専用窓口の設置や出張申請受付を実施します。また、窓口延長や休日開庁時間の拡充、チラシの全戸配布に加えて高校への配布を検討しています。

**問** マイナンバーカード交付推進費の事業内容は。

**答** カードを取得した市民を対象に、ふるさと納税返礼品等が当たる抽選会などを検討しています。

**原油価格高騰対策支援金** 1億5,000万円の増

**問** 支援金の内容は。

**答** 中小企業や農家などを対象に、今年1月から6月までの任意の3カ月分の光熱費及び燃料費の合計から前年同時期の合計を差し引いて、上限30万円を支給します。

**ねっぴ～Pay** 1,000万円の増

**問** 事業の内容は。

**答** 通常は1%のポイント還元のところ、毎月0と5のつく日には10%還元などのキャンペーンを検討しています。地域商店の売上げ促進や消費者への経済的支援、ねっぴ～Payの利用促進と流通量の増加を図ります。

**教材費補助金**

3,013万円の増

**問** 教材費補助の内容は。また、補助の期間は。

**答** 学習教材のドリルや問題集、家庭科などでの材料購入費用を補助します。小学校は1人月額1,000円、中学校は2,300円、特別支援学校は370円を目安としています。期間は2学期から3学期までとします。

### 討論

賛成

・6月議会で複数の議員から物価高騰対策を求める声があったが、臨時会での対応は遅いのではないかと。市民や事業所への影響をきちんと把握し、誰一人取り残さぬようスピード感を持ち支援してほしい。

### 議決結果

全会一致で原案可決



## 水道料金を半年間減免

議案第44号 令和4年度加西市水道事業会計補正予算（第1号）について

### 質疑

**問** 水道料金減免の詳細は。

**答** 家庭用の全額及び業務用の基本料金を減免します。期間は半年間で、偶数月の検針地区は8月検針分から、奇数月の検針地区は9月検針分からです。標準家庭では半年間で約1万8,000円の減額となります。

### 討論

なし

### 議決結果

全会一致で原案可決





## 第 295 回 令和 4 年 6 月定例会 議決結果一覧

賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

| 議案  | 北川克則 | 高見博道 | 下江一将 | 佐伯欣子 | 深田照明 | 衣笠利則 | 井上芳弘 | 中右憲利 | 黒田秀一 | 丸岡弘満 | 深田真史 | 森元清蔵 | 原田久夫 | 森田博美 | 土本昌幸 | 議決結果              |
|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------------|
| 意見書案第 2 号<br>「海の日」を 7 月 20 日に固定化することを求める意見書について | ×    | ○    | 欠席   | ×    | ×    | ×    | ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ×    | 議長   | ×    | ○    | 原案否決<br>(賛 5、反 8) |
| 意見書案第 3 号<br>憲法改正の早期実現を求める意見書について               | ○    | ○    | 欠席   | ×    | ×    | ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | 議長   | ×    | ×    | 原案否決<br>(賛 6、反 7) |

### 全会一致で承認、適任と答申、同意、可決した議案

- 報告第 1 号 専決処分したものにつき承認を求めることについて（加西市税条例の一部改正）
- 報告第 2 号 専決処分したものにつき承認を求めることについて（加西市国民健康保険税条例及び加西市介護保険条例の一部改正）
- 諮問第 7 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第 33 号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第 34 号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第 35 号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第 36 号 加西市産業振興促進条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 37 号 加西市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 38 号 名誉市民の称号を贈ることにつき同意を求めることについて
- 議案第 39 号 市道路線の廃止について
- 議案第 40 号 令和 4 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 41 号 令和 4 年度加西市一般会計補正予算（第 2 号）について
- 議案第 42 号 令和 4 年度加西市一般会計補正予算（第 3 号）について
- 意見書案第 1 号 食の安全保障と国内農業の安定を求める意見書について

## 第 296 回 令和 4 年 7 月臨時会 議決結果一覧

### 全会一致で可決した議案

- 議案第 43 号 令和 4 年度加西市一般会計補正予算（第 4 号）について
- 議案第 44 号 令和 4 年度加西市水道事業会計補正予算（第 1 号）について

今年度は、「加西市農業の未来について」をテーマとして、行政施策の調査、兵庫県立農業大学校や兵庫県立農林水産技術総合センターの視察、新規就農者へのアンケート調査、営農組合との懇談会を実施し、調査研究を行っています。年内に行政へ提言する予定です。

農林水産技術総合センター

5/13



AI 管理によるトマト栽培

5/13

営農組合との懇談会



新規就農を目指す  
方のイチゴ栽培

4/21

農業大学校



水稻の品種改良栽培

市政を  
問う!

## 一般質問

6月10日、13日の本会議では、11名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)  
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。

### 県道三木穴栗線の歩道整備の早期実現を



中右 憲利 議員  
(令和新風加西)



**問** 県では、この区間は通学路でないため事業実施の優先順位は低いとの認識も一部あった。本来この道路は通学路にすべきだが、あまりに危険なため、子供たちは遠回りして通学していると聞いている。その事情を県に考慮してもらいたい。市の認識は。

ますと言ったが、後任の担当者は計画に位置づけられていないから整備予定はないと言う。そうであればもう一度計画に位置づけてもらうべきと思うが、市の考え方は。

**問** 県道三木穴栗線の西谷交差点から谷交差点区間の歩道整備は、令和5年度までに着手すべきところとして、平成31年度に県の計画に位置づけられたが、整備の予定は。

**答** ご指摘のとおり、この区間は路肩があまりに狭く通学路として非常に危険なため、緊急的に通学路を変更している状況です。市としては当該路線を通学路に等しい重要路線と認識し、早期に整備を行い、本来の通学路の機能を回復すべきと考えます。

**答** 市としても西谷交差点から畑町までの歩道整備が完了してこそ、交差点改良等の投資効果が発揮され安全性が確保されると考えます。また、この区間に関する地元の協力体制が十分であることも認識しています。次回の社会基盤整備プログラムの改訂時には、「現在計画中の西谷交差点から谷交差点の進捗を見ながら、事業化の時期を調整する箇所」と位置づけられるよう取り組みます。

**答** 県の計画では、実施中の事業及び通学路に優先的に予算を配分し、未実施の当該区間の予算確保は難しい状況です。しかし、市としては加西市通学路交通安全プログラムにおいて整備が必要な区間として明確に位置づけ、地元と一体となって早期完成を目指し、県へ働きかけていきます。

**問** 西谷交差点から西側の畑町までの区間の歩道整備は、平成26年度に社会基盤整備プログラムに位置づけられたが、平成31年度の改訂で消えていた。当時の県の担当者は、整備してい

#### ■その他の質問項目

- ・ 未来型児童館について
- ・ 加西市の観光全般について
- ・ 北条高校の活性化について

## 歴史文化財を守り継承していくために



深田 照明 議員  
(21政会・加西ともて育つ会)



**問** 歴史文化基本構想と文化財の保存活用の取組について。

**答** 平成30年3月に策定した加西市歴史文化基本構想は、歴史文化遺産の保存活用に関する長期的な方向性を定めたマスタープランです。令和2年12月には、具体的な事業を計画するアクションプランとして、加西市文化財保存活用地域計画を策定し、いにしえより大切に受け継がれてきた地域の宝である歴史文化遺産を生かし、まちづくりや地域の活性化を推進しています。

**問** 歴史文化財調査数の推移について。

**答** 埋蔵文化財発掘調査数は令和元年度は確認調査6件、本発掘調査1件、2年度は確認調査6件、本発掘調査1件、3年度は確認調査4件、本発掘調査1件となっています。個人からの歴史資料（主に古文書）調査依頼数は令和元年度0件、2年度110件、3年度2,950件と大きく増加しています。これは家じまいの増加が大きな要因と考えています。

**問** 文化財を保存・活用する専門職員の配置体制は

**答** 歴史資料の調査依頼が増え、専門職員の育成とともに計画的な人員確保が必要となっています。今後も任用形態も含め適切な人員確保に努めます。

**問** 文化財の保存管理状況と歴史文化資料館建設について。

**答** 文化財の保存・展示は埋蔵文化財整理室で行っています。施設は老朽化が進み雨漏り等の修繕対応は年々増え、また保管庫としての温度・湿度管理設備はありませんが、保存環境の維持に努めています。

将来的には資料館建設を目指す考えはありますが、今は未来型児童館などの大型事業を進めている状況でもあり、財政的見通しや人員確保などの諸条件も含め、歴史文化資料館の建設・整備には総合的な検討が必要と考えています。

### ■その他の質問項目

- ・ サステナブル・ビジネスプランについて

## 公共交通（地域主体型交通）のこれから



北川 克則 議員  
(令和新風加西)



**問** 富田地区で新たに地域主体型交通が導入されるが、その他の地区の状況は。

**答** 賀茂地区では令和3年10月に住民アンケートを実施し、ふるさと創造会議が中心となって導入を検討されています。また、九会地区では、市内の先行事例を含めた地域主体型交通の勉強会を実施される予定です。

**問** 地域主体型交通のニーズについて。

**答** これまでに宇仁、日吉、富田、賀茂の4地区で住民ア

ンケートを実施されています。それぞれの地区の5～10%の方が移動に困られている状況で、そのうち病院や買物に行きたいという方が7～8割を占めています。

**問** 今後ますます公共交通の役割が大きくなると考えるが、今年度策定する加西市公共交通計画の理念や方針は。

**答** (副市長) バスのネットワークや北条鉄道の行き違い施設整備など状況の変化を踏まえた上で、地域の方の取組に対して、利便性をどのように高めていくかが大事だと考えます。そのために、地域主体型交通をさらに充実させながら、市内連携軸との連携強化をどのように図るのがポイントになってきます。

同時に、次世代型モビリティやMaaSなど、公共交通の在り方自

体が年々変わっています。従来の公共交通の概念に縛られ過ぎず、様々な意見も参考にしながら、取り入れられるものは積極的に取り入れていきたいと考えます。

※ MaaS（マース：Mobility as a Service）とは、バス、電車、タクシー等あらゆる公共交通機関をITを用いて結び、人々が効率よく、かつ便利に使えるようにするシステム。

**要望** 市民の声に配慮した高齢者に親切な計画を策定していただきたい。あわせて、通院や買物利用の時間帯に特化した相互乗り入れを可能にし、移動人口の増加を推進していただきたい。

### ■その他の質問項目

- ・ 土地の利活用について
- ・ ふるさと納税について

## 農福連携による障がい者雇用の創出を



下江 一将 議員  
(21政会・加西ともて育つ会)



**問** 農福連携の進捗状況は。

**答** 令和元年度に農福連携研修会に参加された農業者から、福祉事業所との連携の相談を受け福祉部局を通じて調整しましたが、進展がない状況です。以降令和3年度も進捗はありません。

その他、神戸大学食支援センターのジャガイモを学校給食用に納入する際、福祉部局を通じて福祉事業所に依頼し、土を洗い落してもらおう取組をしています。

**問** 農福連携が進まない理由をどのように考えているか。

**答** 農福連携は、農業法人等が作業を手伝ってほしい時期や時間、人数、作業などと障がい者の方の希望や体調、障がい者に対する理解や支援方法などがマッチングして初めて、持続的な連携が成立すると考えます。継続的に双方の意見を集約、調整する役割を担う場所がないのが現状です。

また、一定した仕事量を希望されることも多く、農業は農繁期と農閑期で仕事量に差があり、農福連携が進まない一因と考えます。

**問** 農福連携のマッチングにはコーディネーターの存在が必要と考えるが、取組事例は。

**答** 自治体が就労支援センター協議会を立ち上げ、専任のコーディネーターが農業と福祉の相談窓口となり、マッチングや仕事の開拓、各種補助金の紹介をするなど成功事例があります。

**問** 農福連携事業を進めるに当たり国や県の補助制度は。

**答** 国は、障がい者が農業経営体で農作業等を行うため、環境整備や運営経費の支援や障がい者を雇い入れた場合に雇用助成金を支給しています。また、兵庫県では農福連携支援アドバイザーの派遣や研修会、優秀事例を選定するコンテストなどを行い、積極的に農福連携を推進しています。

今後はこのような制度について十分理解するとともに、より一層制度の活用を検討し、農福連携が実現するよう支援します。

**意見** 農業をきっかけとして障がい者の方が社会との接点が増え、地域での理解が広がり、また深まる、そして人手が足りない農業者の力にもなると考える。ぜひ農福連携を進めていただきたい。

## 儲かる果樹就農をめざす支援とは



佐伯 欣子 議員  
(21政会・加西ともて育つ会)



**問** 果樹栽培の新規就農者の受入れ状況は。

**答** ブドウ栽培で認定した新規就農者は、平成26年度1名、27年度1名、28年度5名、令和元年度1名、2年度1名の計9名です。いずれも市内6か所の果樹団地内で成木のあるブドウの木を引き継ぐ形で就農されています。

**問** 補助制度と就農計画について。

**答** 認定新規就農者に対する補助制度は、国庫100%の補助制度と国の要件を満たさない場合の市の単独補助があります。ど

ちらも市が定める基準を満たす就農計画を作成し、市の認定が必要です。認定基準は、就農後おおむね5年後に1人当たり労働時間1,800時間程度、主たる従事者1人当たりおおむね200万円の農業所得を達成できる計画です。

**問** 果樹、特にブドウは苗木を植えて収穫するまで数年が必要なことや新規のブドウ畑の確保の問題があるが、その対策は。

**答** 国の助成等を希望されない場合は仕事を辞めずに小さな面積から苗木を新植し、徐々に規模を拡大してブドウ農家へシフトすることも助言しています。また、JAのぶどう部会加入により、苗木の購入費やブドウ棚の新設、改修補助などの利用が可能です。ブドウ畑の確保として、農家の高齢化による離農や農地荒廃を防ぎ、就農希望者とつなげるため、

経営縮小や離農予定の方がいる場合は、経営規模の拡大や新規就農希望者とマッチングできるよう情報収集に努めています。

**問** 市外からの若者の定住就農の今後の見通しと対策は。

**答** 引き続きJAのぶどう部会やブドウ団地の代表者、ブドウ農家と連携、情報共有し、スムーズに就農希望者に引き継ぎができるよう努めます。また、ふるさと納税等で活躍されているグループの情報発信等も行っています。

**要望** 緑豊かな農業市として定住就農者を一人でも増やしていくことが、今後様々な分野で人をつなぎ儲かる農業へ進む第一歩である。農業が難しく食料自給率40%に満たない状況だからこそ、農業関係各所、行政がもっと連携協力を強め、地域の中で最大限に取り組んでいただきたい。

## 子供たちの未来のための学校計画を



高見 博道 議員  
(令和新風加西)



**問** 未来の学校構想素案では小学校が11校存続となっているが、その理由は。

**答** 素案に示す小学校の考え方は、11校の存続です。その上で、小規模化に伴うデメリットを緩和するため、学校間の交流や連携、ICT活用をした合同授業をさらに発展させていくことを意図して、学園構想を提案しています。小学校は、地域の核としての存在意義と自主的なまちづくりの拠点としての機能があり、これらの要素を勘案しての提案です。また、教育の質を確保するため、小規模

校においても組織的な指導体制や支援策を講じながら、安定し継続した教育活動が実施できるよう、学園構想を導入して11校を存続する考えです。一方、複式学級の発生も数年後に見込まれるため、保護者や住民の方が統合を望む場合は、統合について協議を始めるというただし書を添えています。

**問** 小学校は11校存続で、なぜ中学校は統合を急ぐのか。

**答** 中学校では、教科担任制度で学科指導をするには、全教科の教員がそろっていることが必要ですが、現状は1学年単学級となり、法律上必要な教員数を確保できない事態となっています。また、部活動では、生徒数が減って選択肢が限られる、団体競技でチーム編成ができずに運営が厳しい等の状況も起きています。中学

校は、小学校ほど工夫や手だてが生かされず、制度的な問題もあることから、優先して進めたいと考えています。

素案の2校案は、将来にわたって単学級が発生しない規模を確保していく考えからです。その上で学校の適正規模を維持する観点から、北条中学校は建築時期が新しい校舎であることも踏まえ既存のまま残し、善防、加西、泉の3中学校を統合する2校案が、将来にわたって生徒数が均衡し単学級が発生するおそれが少ないため、より望ましい姿と考えます。

**意見** 小中ともに再編するなら再編する、再編しないならしない方向で進むべきと思うが、主役の子供たちの未来が本当に明るく、加西市が選ばれる地になるような小中学校の学校計画を作っていたideきたい。

## 補聴器の保険適用の拡充を



井上 芳弘 議員  
(日本共産党)



**問** 加齢性の難聴について、これまで本会議でもお尋ねした経緯があります。

兵庫県では加齢に伴う難聴と社会活動の関連を調査するため、400名の参加者を募り、補聴器の購入に対し2万円を上限に補助されます。調査で必要性が認められれば、国に対して補聴器購入の補助を直接要望していくという内容です。

県内では明石市や相生市、養父市、稲美町等が既に補聴器購入の補助を実施しています。加西市でも実態調査をしていく必要がある

と思いますが、現在の状況をお尋ねします。

**答** 補聴器は、特に加齢性難聴では価格が標準的なもので片耳3万円から20万円と高額で、全額自己負担となるため使用率が低いと確認しています。また、兵庫県の調査結果を待つまでもなく、難聴になると人との会話や交流に支障を来し、家庭の中でも孤立しやすく、コミュニケーション不足により生活の質を落とす原因となることは、これまでの高齢者支援の経験からも把握しているところ です。

このような実態の把握と県の状況等も確認しながら、補聴器に限らず高齢者の方々が安心して生き生きと生活できるよう、必要な支援を検討します。



**問** 今おっしゃったように非常に高額です。保険が効かない。中等度の難聴は保険適用にならないからです。保険適用の枠を広げることにより補聴器が購入しやすくなるよう、国に要望していく取組も進めていただきたい。

**答** ご指摘のように、市だけではなく国として必要な支援に取り組んでいただけるよう、要望等も検討します。



### ■その他の質問項目

- ・福祉施策について
- ・農政について
- ・都市整備関係について
- ・自治体と憲法について

## 災害に強いまちづくり



土本 昌幸 議員  
(公明党)



**問** 避難所は場所や環境等により、安全性が大きく変わります。地震による耐震性や豪雨による浸水、土砂災害など避難所の特性が要求されますが、想定を超える災害が予測される中、現状の体制でよいのかお伺いします。

**答** 避難所は、防災ハザードマップに洪水や土砂災害、地震の区分ごとに、使用可能な状況かどうかを記号で示しています。市民の方には、その時々判断で安全な場所へ避難していただきたいと考えます。

**問** 避難所の設備ですが、今の通信手段は主に携帯電話等です。Wi-Fiの整備も必要と考えますが、状況をお伺いします。

**答** 避難時には情報収集や連絡手段のためにWi-Fi等の通信手段が非常に大事です。学校は、避難所となった場合にフリーWi-Fiを提供できるよう整備しています。公民館も一昨年に整備し、いつでも利用できる環境です。

**問** 避難所の収容人員により、どの地域の方がどの避難所に避難するのか決めておく必要があるのでは。

**答** 災害時は指定緊急避難所に避難することになっていますが、災害の状況に応じてより安全な避難所へ行く必要があると考えます。小学校区境等は地震による橋の崩落や道路寸断、豪雨災害

による道路浸水の可能性もあり、避難が必要な場合は、区長様を通じて連絡する予定です。

**問** 災害時の家族の避難カードですが、年に1回は広報等で周知する必要があるのでは。

**答** 毎年9月の防災月間に広報に掲載するなど、普段から避難カードを記入して災害時に活用できるよう、周知に努めます。

**問** 豪雨災害による避難が想定される地域では、あらかじめ安全な避難経路を決めておく必要があるが。

**答** 加西市の場合、豪雨災害で浸水等の避難が生じる地域が限られます。避難が想定される地域では、今年度中に避難訓練を実施して避難経路を確認する予定です。今後も随時必要に応じて避難訓練等を実施します。

## 小野クリーンセンターの廃炉負担、5千万円払ってもよいのでは？



深田 真史 議員  
(自由民主党・無所属の会)



**問** 4月27日、加西・小野・加東の3市長が、令和17(2035)年頃の稼働を目指し、新ごみ処理施設を建設すると合意し、確認書が交わされた。3市で合意していない内容は何か？

**答** 新施設の建設費・運営費の負担割合、現施設の解体撤去費の対象となる資産のあり方についてです。

**問** 現施設の廃炉負担について、加西市は「計量棟」のみ負担との主張だが、新施設建設までの工程表では、小野クリーンセンターでの加西市の燃えるごみの焼

却期間は21年になる。ちなみに加西クリーンセンターの焼却期間は19年。万一、改修になった場合、資産となる「計量棟」以外も廃炉負担するつもりがあるか。

**答** (市長) 令和17年まで使用するとなれば、大規模改修も考えなければなりません。その際は加西も廃炉負担をするのは当然です。

**問** では、「計量棟」にこだわった議論ではなく、当初の試算5千万円を払ったらよいのではなか。

**答** (市長) 本当にびっくり仰天です。本当にそう思っているのですか。

**問** 小野の使用年数が加西より長くなるなら、加入年数や実績に基づき合理的な金額を払え

ばよいのではないか。また、建設費の負担割合について、下記の表のとおりとなっているが、加西案の現行どおりはよくない。均等割4にするとか、均等割3のうち小野の一部を加西と加東で持つとか提案してもよいのでは？

|          | 均等割 | 人口割 | 実績割 |
|----------|-----|-----|-----|
| 現行       | 1   | 1   | 8   |
| 小野市・加東市案 | 3   | 2   | 5   |
| 加西市案     | 1   | 1   | 8   |

**答** (市長) 今、積極的に変えるほどではないと思うので、そういう主張をしています。



## 防災・減災に向けた今後の取組は



黒田 秀一 議員  
(自由民主党・無所属の会)



**問** 防災無線整備の今後のスケジュールについて。

**答** 今年度は基地局を設置する予定で、個別受信機の配布に当たってアンケートを実施しているところです。また、市内全域を網羅する情報伝達システムの実施設計について、スマートフォンを活用したシステム構築に向けて進めています。

**問** 職員の防災士、防災リーダー資格取得について。

**答** 男女に関係なく、できる限り積極的に取得するよう進

めるとともに、職員向けに防災意識向上に向けた啓発をしていきたいと考えます。

**問** 防災監の設置について。

**答** 防災監の職責をはじめ、組織や人員確保など解決すべき課題が多いこともあり、現時点では防災監の採用は考えていません。6月から自衛官OBの方を災害対策担当の防災支援員として採用しており、アドバイスをいただきながら災害対応の体制充実を図りたいと考えます。

**問** 旧市街地の狭隘道路では、災害時の緊急車両等の活動に支障を来している。狭隘道路の拡幅の現状は。

**答** 北条旧市街地では建物の新築や改築の際、4メートルの道路幅員を確保できるように所

有地を道路用地として提供していただき、道路拡幅工事を実施して緊急車両の通行を可能にし、防災減災につなげています。

平成29年度から令和3年度までの5年間で測量、分筆登記などの委託業務11件、拡幅工事を7件、129メートル実施しています。土地の提供や寄附に対する奨励金は、後退道路用地は1平米当たり1万円、隅切り道路用地は1平米当たり2万円です。

**問** 家の持主が道路にブロックを積むなどして応じない場合の対応は。

**答** 法律上は、道路中心から2メートル後退する義務が生じますが、そのブロックを撤去するなどの権限はないため、願いのしかない状況です。地域の防災力向上のため、協力していただくよう努めます。

## 安全安心なまちづくりと全国に誇れる教育都市加西の実現を



丸岡 弘満 議員  
(自由民主党・無所属の会)



### 安全安心なまちづくり

**問** 県道多可北条線の河内町二ヶ坂から北条方面へ続くバイパス区間について、防犯灯の設置の進捗状況は。

**答** 河内南交差点までの間に26灯、河内北交差点から西脇市との市境付近までの間に32灯のLED灯を設置する計画です。

**問** 昨年9月議会で、西脇市の明楽寺交差点までの区間の防犯灯設置は極めて困難との答弁があり、その後、県や西脇・多可選出の県会議員等へ要望活動を行った。西脇市の高校へ通う多く

の生徒の通学路として利用されているが、防犯灯は設置されるのか。

**答** 既設の1箇所をLED灯に交換し、8箇所を新設する予定で、工期は7月から8月中旬であると西脇市に確認しました。

**問** 千葉県で発生した下校中の児童死亡事故を受け、通学路の安全確保は喫緊の課題である。県道下滝野市川線の在田郵便局前、上野の交差点付近、下道山町の側溝蓋掛けなど、市内に11ある危険箇所の安全対策は。

**答** 昨年8月の合同点検の後、ソフト面及びハード整備のうち即座に対応できるものは既に実施し、多くの費用が必要なものは継続案件として取り組んでいきます。また、今年度に始まった地元要望による中規模の修繕工事では、路線設定に当たり通学路の安

全確保の観点もお願いしていきたいと考えます。

### 全国に誇れる教育都市加西

**問** 免許更新制度が廃止されるが、教員の指導力や資質の向上策は。人員も予算も増やす必要がある。今の人員体制で大丈夫か。

**答** 社会や学校のニーズは多様化、複雑化、困難化していますが、現在の教育課題の多くの部分を総合教育センターが担っています。業務は多岐にわたりますが、免許更新制度後の新制度においても、研修講座の開設や学校管理職への個別の助言等により対応したいと考えます。

### ■その他の質問項目

- ・ かせい田園都市構想について
- ・ 空き家対策について

# 市議会トピックス

## 行政視察の受入れ・派遣を再開

### 受入れ

| 月日    | 団体名      | 調査事項              |
|-------|----------|-------------------|
| 7月26日 | 静岡県磐田市議会 | 歩くまちづくり条例         |
| 8月2日  | 兵庫県相生市議会 | 議会改革の取り組み         |
| 8月3日  | 愛媛県大洲市議会 | スマートウェルネスシティの取り組み |

### 派遣

| 委員会     | 日程        | 視察先               | 調査事項                        |
|---------|-----------|-------------------|-----------------------------|
| 総務常任委員会 | 7月27日～28日 | 広島県竹原市<br>広島県福山市  | ICT活用教育<br>小中学校の再編計画        |
| 議会運営委員会 | 8月8日～9日   | 福岡県北九州市<br>福岡県古賀市 | タブレット活用による議会運営<br>議会改革の取り組み |

## 令和4年9月 加西市議会定例会の予定

| 月日       | 時間     | 会議                   |
|----------|--------|----------------------|
| 9月1日(木)  | 9:20   | 議会運営委員会              |
|          | 9:40   | 議員協議会                |
|          | 10:00  | 本会議 (提案説明等)          |
| 9月5日(月)  | 15:00  | 発言通告期限 (質疑・一般質問)     |
| 9月9日(金)  | 9:20   | 議会運営委員会              |
|          | 9:40   | 議員協議会                |
|          | 10:00  | 本会議 (質疑・一般質問)        |
| 9月12日(月) | 9:20   | 議会運営委員会              |
|          | 9:40   | 議員協議会                |
|          | 10:00  | 本会議 (一般質問)           |
|          | 本会議終了後 | 予算決算常任委員会 (全体会)      |
| 9月13日(火) | 10:00  | 本会議 (予備日)            |
| 9月14日(水) | 9:00   | 総務常任委員会              |
|          | 委員会終了後 | 予算決算常任委員会総務分科会       |
| 9月16日(金) | 9:00   | 建設経済厚生常任委員会          |
|          | 委員会終了後 | 予算決算常任委員会建設経済厚生分科会   |
| 9月20日(火) | 9:00   | 建設経済厚生常任委員会          |
|          | 委員会終了後 | 予算決算常任委員会建設経済厚生分科    |
| 9月21日(水) | 9:00   | 予算決算常任委員会総務分科会 (予備日) |
| 9月26日(月) | 9:00   | 予算決算常任委員会 (全体会)      |
| 9月28日(水) | 9:20   | 議会運営委員会              |
|          | 9:40   | 議員協議会                |
|          | 10:00  | 本会議 (委員長報告・討論・採決)    |

## 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

9月定例会での取り扱いを希望される場合は、令和4年8月24日(水)17時までにご提出ください。

### 加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見るすることができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記QRコードをご利用ください。



議会中継  
(ライブ・録画)は  
加西市議会HPへ



発行編集 加西市議会  
議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000  
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810  
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 北川克則  
委員 井上芳弘  
委員 深田真史

副委員長 佐伯欣子  
委員 深田照明  
委員 森元清蔵